

好学尚武

練習試合の結果

24日（土）対埼玉栄高校

第1試合 2対1 勝利
雨のため中止

25日（日）対越谷西高校

第1試合 12対1 勝利
第2試合 途中まで

通算成績 30勝 17敗 3分

縁の大切さ

普段行っている練習試合は、相手校先生方と何かしらの「縁」があって組まれています。例えば（最近試合を行った）上記の2校は、県の理事として私が一緒に勤務させていただいている先生方の高校になります。また今秋は、雨や感染症の流行等で、試合が（前日等に）急遽キャンセルになってしまうことが結構ありました。キャンセル後、他の縁ある先生方に連絡し、翌日朝にはその高校と試合をしているなんてことも多くありました。このような経験をさせていただくと、練習試合を行っていくこと自体が「人生そのもの」のような気がしてなりません。

- 「縁」を大切に過ごす
- 困った時はお互いさま

高校生もそのような意識をもって生活していると、人生が豊かになっていくと思います。実践してみてください。

ちょっと良い話

普段お世話になっているスポーツ店の方から「週末、市高はどんな予定になっていますか？」そんな風に聞かれたので、土曜は遠征、日曜はウチ（のグラウンド）で試合をしていますよ～そんな感じで答えました（一般的に考えて、私達が市高にいる時、商品の搬入等で来校しようとしている・・・そんな風に考えると思います。実際そう思いました）。ところが日曜日（市高で試合をしている時）その方からこんなメールをいただいたのです。バックネット（高所）のほつれが気になると話していたので、野球部がいない時に直しておきました～。野球部がいない時を知りたかったんですね・・・何気ない会話をしっかりと覚えていて、ボランティアでそのような作業をすることができる・・・素晴らしい！そのように感じました。

もう1つ良い話です。

私生活、ゴミ拾いを大切にした方が良い・・・

野球指導者の方はよくこんな感じの話を選手達にするのではないのでしょうか・・・私もしています。野球は個人の結果もチームの結果も（相手の変化等）に「気付くこと」と、また、その「気付きに対する咄嗟の対応」が大きくものをいうのです。ゴミがあることに気付き、そのゴミを拾うという対応をしっかりとする・・・他人がしてしまったミス（＝ごみを周辺に捨てるというミス）をカバーする、そんな意味も含んでいると思います。気付いても対応しなければ（ミスをそのまま放置すれば）試合に負けます。

先日、市高の先生からこんな話をされました。（駅までの道を）市高野球部員の後ろを歩く形で帰っていたところ、その部員がゴミを拾いながら帰っていた・・・そんな話です。誰だか分かりませんが、そのような行動がチーム全体で「当たり前」になれば、（個人やチームの結果に）大きな変化が生まれると思います。

良い話がどんどん続いて欲しいと思います。